



琉金や出目金を寄贈しました



大人も子どもも真剣!



日々の訓練の成果を発揮しました



園児たちの笑顔で溢れました

7/29 **ながす金魚を寄贈
ものづくりフェアin山口**

町と熊本ものづくり塾は、山口県防府市で開催された「ものづくりフェアin山口」に参加しました。

これは、熊本ものづくり塾と山口県防府市のものづくりを通じた交流をきっかけとしたもので、会場では金魚すくいを行うなど、ながす金魚をPRしました。会場には多くの来場者が訪れ、金魚すくいを楽しみました。

また、防府市教育委員会にながす金魚を寄贈し、交流を深めました。寄贈した金魚は、防府市の子どものための環境学習や教育の一環として活用されます。



和やかな雰囲気勉強できました

7/31-8/24 **卒業生が宿題を教える
長洲中でサマースクール**

長洲中学校(中山直幸校長)は、夏休み期間を活用して、サマースクールを開催しました。

これは、夏休み期間中に図書室で宿題などの勉強を行う生徒たちに、高校生から大学生までの卒業生たちが勉強を教えるもので、初めての取り組みです。

11日間行われたサマースクールには、延べ42人の卒業生が参加し、生徒たちの質問に丁寧に答えました。

吉本友姫さん(3年)は、「分からないところを高校生や大学生が詳しく教えてくださったおかげで理解することができました。とても役に立ったサマースクールでした」と話しました。

7/28 **親子で夏休みの思い出づくり
親子ふれあい陶芸教室**

長洲有明ライオンズクラブ(中村正一郎会長)と長洲町青少年育成町民会議(福田了哉会長)は、町中央公民館で親子ふれあい陶芸教室を開催しました。

ことしは23人の親子が参加し、小袋焼一先窯の山口友一さん、博子さん夫妻を講師に、オリジナル陶器づくりに挑戦しました。

Voice 安田玲ちゃん・中村博子さん

長洲町に住んでいるおばあちゃんと毎年楽しみに参加しています。ことしは家の形をした花瓶を作りました。完成したらパンジーを植えてお部屋に飾ります。



中逸町長に九州大会出場を報告しました

7/31 **陸上・テニス・体操競技
腹栄中学校の生徒たちが九州大会出場を報告**

腹栄中学校(松永光親校長)の生徒14人が町役場を訪れ、中学校総合体育大会の県代表として、九州大会に出場することを報告しました。

九州大会に出場したのは、陸上(個人)・テニス(団体)・体操(個人)の3種目で、見事県大会を勝ち抜き、8月の九州大会へ出場し、健闘しました。

【県大会結果(敬称略)】

- 野尻 一輝 陸上男子100m(優勝)
200m(準優勝)
- テニス部 女子団体の部(準優勝)
- 新川 実結羽 体操競技(4位)

7/22 **日々の訓練の成果を披露
第29回玉名郡消防操法大会**

第29回玉名郡消防操法大会が玉東町で開催されました。

町からは第7分団(平原区)が出場し、猛暑の中、各町の代表と消防技術を競いました。出場した団員は、3カ月にわたって訓練を重ね、町の代表として堂々とした操法を披露しました。

出場した団員は以下のとおりです

- 【第7分団(平原区)】
- 指揮者 廣岡 大忠 1番員 本田 裕樹
 - 2番員 藤崎 悠輔 3番員 木戸 隆太
 - 補助員 濱村 浩史



親子ペアで乗船し、海の風や波を体験

7/28 **海の魅力を感じてほしい
シーバード肥後ながすが水上バイク乗船体験開催**

シーバード肥後ながす(中尾政光代表)は、下沖洲海岸で水上バイク乗船体験会を開催しました。

これは、海の魅力を感じてほしいと小学生以上の親子を対象に行っているものです。ことしは、防災などで連携を強化している上沖洲区と下沖洲区(玉名市)の子ども会を中心に約100人の親子が参加しました。



参加者にかき氷も振る舞われました 参加者で海岸のごみ拾いも行いました

7/19 **世界にたったひとつのミニカーづくり
六栄保育所でものづくり教室**

六栄保育所の年長児17人を対象に、中逸町長がものづくり教室を開催しました。

これは、ものづくりを通して子どもたちの健全育成を目指す取り組みで、上級木育推進員の資格を持つ中逸町長が、木製ミニカーの作り方を教えました。園児たちはペンやシールで飾り、オリジナルミニカーを完成させました。



完成したミニカーで楽しく遊びました 一生懸命作りました



ペットボトルで科学あそび

7/25-8/10 **先生は地域の大人たち
夏休み中に長洲ふるさと塾を開催**

町は、夏休み期間中に各小学校の教室などを活用して「長洲ふるさと塾」を開催しました。

これは、地域の大人が先生となり、ものづくりや文化、地域特有の資源をテーマにした体験活動を子どもたちに教えるもので、各会場は子どもたちの笑顔であふれました。



紙すき体験 ものづくり体験



のぼり旗に金魚を描く参加者

8/4・5 町のシンボル金魚を個性豊かに表現
金魚をつくろう！ワークショップ開催

町は、金魚の館で、「金魚をつくろう！ワークショップ」を開催しました。

ことしで2年目となったワークショップには約150人が参加。崇城大学芸術学部やデザイナー、町内の若者などがアシスタントとなり、参加者はねんどでつくる金魚彫刻やのぼり旗に金魚の絵を描くなど、ワークショップを楽しみました。

完成した作品は、10月20日に開催される「金魚サミット in ながす」で展示される予定です。

ワークショップは、9月1日、2日も開催します。



多くの人が金魚すくいを楽しみました

8/17 ながす金魚をPR
熊本市動植物園で金魚すくい体験を開催

町は、熊本市動植物園で、金魚すくい体験を開催し、来園者に「ながす金魚」をPRしました。

これは、多くの人に金魚と触れ合ってもらおうと熊本市動植物園の夜間開園日に合わせて行ったもので、子どもから大人まで金魚すくいを楽しむ多くの来園者で賑わいました。

金魚すくいを体験した来園者からは「ながす金魚は元気がよくてすくうのが難しかった」、「金魚すくいを最近見かけなかったの、久しぶりで楽しかった」などの感想が聞かれ、盛況のうちに終了しました。



手作りの器とお箸を使っておいしさも倍増！

8/4 竹を削って器とお箸作り
そうめん流しで地域交流

平原子ども会（上野美登会長）は、平原区ふれあい健康公園で、地域交流会を開催しました。

これは、地域の親睦を深めるために初めて実施されたもので、子どもたちと地域の大人約50人が参加。子どもたちと区の老人会が協力して手作りの竹の器やお箸を使って、そうめん流しを楽しみました。

上野会長は「今後も世代間交流の場として継続していきたいです」と話しました。



竹を切ったり削ったりして準備しました



中逸町長に受賞を報告する大塚社長（中央）と販売課の木山さん（左）

8/17 平成30年度優良新商品表彰
株式会社大塚食品『えのきかけご飯』が受賞

株式会社大塚食品（大塚哲也代表取締役）は、町役場を訪れ、新たに開発した新商品「えのきかけご飯」が、県物産振興協会が主催する平成30年度熊本県優良新商品表彰事業食品部門で優良商品賞を受賞したことを報告しました。

これは、自社生産のえのきを乾燥させ、えのきの旨みに有明海産の海苔を加えた、無添加にこだわった「ふりかけ」で、約1年半かけて開発されたものです。

大塚社長は「社内で知恵やアイデアを出し合っで開発したのでうれしいです。多くの皆さんに食べてもらいたいです」と話しました。



講師から紙すきを教わる参加者

8/1 ものづくりの活動を広げたい
磯町区で紙すき体験教室

磯町区（島崎慧治区長）は、磯の館で紙すき体験教室を開催しました。

これは、区民自らがものづくりの指導者になり、活動を広げていくために実施されたもので、約10人が参加。熊本ものづくり塾の講師の指導のもと、ケナフを使用しての紙すき体験を楽しみました。参加した区民は指導者として、区民や学校などに紙すき体験の活動を広めていく予定です。

参加者は、「昔、海苔すきをしていたことを思い出して懐かしかった。今後、磯町区から紙すきを広めていきたいです」と話しました。



目隠しをして実際に体験

8/4 障がい者の理解とスポーツ
アダプテッド・スポーツを知ろう！

NPO法人長洲にここクラブと町は、腹栄中学校体育館で、第1回障がい者スポーツの指導者育成研修会を開催しました。

これは、障がい者への理解と障がい者スポーツへの関心を深め、指導員を育成するために行われたもので、町内のスポーツ・障がい福祉事業関係者など13人が参加しました。中級障がい者スポーツ指導員の芦江源太氏を講師に招き、参加者は、実際に視覚に障がいがある人の伴走の動きを体験するなど、支援の方法について学びました。

9月29日には、第2回研修会が開催されます。



旭日単光章を受章された田成さん（左）

8/1 元町議会議長の田成正信さん
地方自治功労で旭日単光章を受章

田成正信さん（建浜区）が町役場を訪れ、高齢者叙勲の伝達式が行われ、旭日単光章を受章しました。

これは、地方自治功労者に対して、年齢88歳に達した機会に授与されるもので、中逸町長から勲記と勲章が手渡されました。

田成さんは昭和44年から5期20年にわたって町議会議員を務め、昭和60年からの4年間は議長として町の教育、文化、福祉の発展に貢献されました。

田成さんは「20年間支えてくださった皆さんのおかげです」と感謝を述べました。



左から義援金を受け取る安部事業所長、長洲友の会の津田会長と会員の皆さん

8/2 西日本豪雨災害の被災地へ
長洲友の会が義援金贈呈

長洲友の会（津田悦司会長）は、ジャパン マリンユナイテッド（株）有明事業所を訪問し、西日本豪雨災害の被災地への義援金を手渡しました。

この義援金は、西日本豪雨の被災地の役に立ちたいとの思いで贈られたもので、被害を受けた広島県に事業所をもつ、ジャパン マリンユナイテッド呉事業所を介して、被災地へ届けられます。

津田会長は「大変な被害に遭った人がたくさんいる中、長洲友の会としてできることをしたいと思った」と話しました。